

スポーツを愛するすべての人へ ＜日本スポーツ協会会長メッセージ＞

1911年に創立された日本体育協会（当時、大日本体育協会）は、2018年4月1日、「スポーツと、望む未来へ。」のコーポレート・メッセージのもと「日本スポーツ協会」として新たな一步を踏み出しました。

本会では、スポーツは「自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化」であると考えていますが、残念ながら、昨今のスポーツ界において発生した事案（ドーピング、加盟スポーツ団体のガバナンス低下、スポーツ指導者（監督・コーチ）による不適切な指導など）により、文化としてのスポーツの価値が脅かされています。

本会は、今後もスポーツの意義と価値を高めるとともに、スポーツがあらゆる人々に一切の差別、格差なく享受され、誰もが望む社会を実現するため、スポーツを愛するすべての人へメッセージを送ることとしました。

スポーツの「場」は、多くの人々によって支えられています。スポーツを楽しむプレーヤーはもとより、プレーヤーを導き支えるスポーツ指導者、プレーヤーを取り巻くすべての関係者（以下、アントラージュ¹⁾）、それらをサポートするスポーツ団体や組織があります。

より良いスポーツの「場」を創るため、それぞれがスポーツの意義と価値を認め、常に品位と名誉を重んじ、スポーツの競技規則、スポーツマンシップやフェアプレーなどのスポーツ規範に基づき、生涯を通じ自己の能力・適性等に応じて、自らが主体的にスポーツの楽しさや喜びを味わうことが重要であると、考えています。

これらスポーツを愛するすべての人が「場」を形成する当事者として役割を分担しながら、最適なスポーツの「場」を創っていくために行動しましょう。

＜プレーヤーの皆さんへ＞

【スポーツを心から楽しむ】

スポーツは、自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化です。「楽しい」「大好き」という気持ちがスポーツを続ける原動力であり、一人ひとりが主役として、みんなが楽しむことができるスポーツの「場」をつくりましょう。

【互いに尊重し合う】

スポーツの「場」を形成するすべての人が大切な自分の時間を使っています。それぞれの役割は違いますが、一人の人間としては対等で、尊重されるべき人格があり、ものの見方や考え方も多様です。相手を受け容れ、互いに尊敬や感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

【自ら問いを立てる】

常に自分の思考や行動について問いを立て、答えを求め、考える習慣を身に付けましょう。

＜スポーツ指導者の皆さんへ＞

【プレーヤーズセンタード²⁾】

スポーツの主役はプレーヤーです。スポーツ指導者は、プレーヤーが望むスポーツ活動を理解しながら、プレーヤーの成長を促す役割を担っています。スポーツ指導者自身の考えを一方向的にプレーヤーに伝えるのではなく、気づきを促し、成長に導いていくコーチングを目指しましょう。

スポーツの特徴には「勝敗」があります。勝利することにより喜びを得て、さらなる成長を目指すモチベーションの向上にもつながります。

¹ 保護者、アスレティックトレーナー、スポーツドクター、マネジャー、審判員、メディア等のプレーヤーと関わりを持つすべての人々。

² プレーヤーを取り巻くアントラージュ自身も、それぞれの Well-being（良好・幸福な状態）を目指しながら、プレーヤーをサポートしていくという考え方。

しかしながら、「勝利」という結果がすべてではありません。全員が勝者になることはなく、敗れることも経験します。また、勝利を目的としない、勝敗を第一としない楽しみ方も広がっています。勝利を目指して努力する姿勢は大切ですが、結果にかかわらず相手に敬意を持つことや、未来に向けて何を考えるかをプレーヤーやアントラージュに伝えましょう。

さらに、アントラージュとのコミュニケーションも重要な役割の一つです。プレーヤーがスポーツを楽しむ環境を整えるため、すべての関係者と良好な関係を築きましょう。

【学び続ける】

プレーヤーが望むスポーツ活動を理解しながら、プレーヤーに気づきを促し、成長に導くためには、的確にアドバイスができる知識・技能が求められます。日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得をはじめとして、常にコーチングに関する最新の情報を手に入れ、学び続けていきましょう。

また、同じ志をもつ仲間を増やし、他者からも学ぶ姿勢をもって、互いに協力し、自身のコーチングを振り返る時間を設けましょう。

【ワークライフバランス】

プレーヤーと同様、スポーツ指導者にも自身の生活、ライフプランがあります。プレーヤーに対して情熱を傾けつつも、自身の幸福の追求や家族・関係者のライフプランの充実も念頭に置きながらコーチングに携わりましょう。

<アントラージュの皆さんへ>

【良き理解者となる】

プレーヤーの目標達成には、自身の努力、スポーツ指導者の導きや支えに加え、アントラージュの役割が大変重要になります。プレーヤーが望むスポーツ活動を理解し、その成長を見守り促すため、良き理解者となるように心がけましょう。

練習によってできなかったことができるようになるなど、「達成感」や「有能感」が得られることも、スポーツの持つ大きな価値の一つです。

一方、努力の成果が必ず花開くものでもありません。勝利を目指し努力することは大変重要ですが、「勝利」という結果がすべてではありません。プレーヤーは、スポーツを自ら楽しみ、目標達成を目指す過程の中で、スポーツマンシップやフェアプレーなどのスポーツ規範を学び、倫理観や他者を信頼すること、他者に貢献することなどを身に付けることができ「人」としても成長します。アントラージュは、このような視点をもちつつ、互いに協力しあってプレーヤーの成長をサポートしましょう。

<スポーツ団体・組織の皆さんへ>

【スポーツを愛する人を増やす】

スポーツは、「する」「みる」「ささえる」といった多様な楽しみ方があります。一人でも多くの方がスポーツを生活の中に置いて、生涯を通じて、長く楽しめる環境を整えていきましょう。

【反倫理的行為を根絶する】

スポーツは、自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化です。本会は、スポーツの「場」での、暴力行為、暴言、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、ドーピングなどの反倫理的行為の発生や、それらの行為が黙認されることにより、スポーツを敬遠する人が増えるなど、スポーツの価値が低下することを懸念しています。

このことを私たちは再認識し、スポーツの「場」から反倫理的行為を根絶し、団体・組織の経営・運営が、公明正大なものとなるよう共に不断の努力を続けていきましょう。

平成30年7月18日

公益財団法人日本スポーツ協会

会長 伊藤雅彦